

第5回デフリンピック運営委員会 議事次第

日時：2024年3月6日 18：00～20：00

場所：戸山サンライズ

1. 委員長挨拶

2. 議題

- (1) 2024年度事業計画（案）について
- (2) 2024年度予算（案）について

3. 報告

- (1) 利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について
- (2) デフリンピックフェスティバルについて
- (3) 令和5年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について

4. その他

2.議題（１）2024年度事業計画（案）について

大会準備業務

- 大会開催に向け、多方面との調整等
 - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
 - ・ 全国の気運醸成イベントの検討、推進
 - ・ 社会的・文化的プログラムの作成、公表
 - ・ 寄附の受入れ
 - ・ 大会情報の発信（国外・国内）

適切なガバナンス確保や継続したコンプライアンス確保

- 都のガイドライン等、大会運営組織のガバナンスセルフチェックリストを踏まえ、ガバナンスやコンプライアンスの継続した確保
 - ・ コンプライアンス推進にかかる基本方針やコンプライアンス推進計画等に基づく、役職員等向けコンプライアンス研修の実施
 - ・ 契約調達管理会議への契約・調達案件付議、大会専用の会計の設置・運用
 - ・ 内部監査・監事・外部監査人が密に連携した三様監査体制を構築し、監査機能を強化、情報共有等の実施
 - ・ 利益相反管理委員会において、役職員等の利益相反管理の遵守状況の確認、必要に応じた調査の実施

2.議題（2）2024年度予算（案）について

デフリンピック運営委員会 会計（抜粋）

単位：千円

科 目	当年度
I．一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
受取寄付金	0
雑収益	0
経常収益計	0
(2)経常費用	
①事業費	
会議費	200
旅費交通費	800
印刷費	0
諸謝金	0
広報費	6,000
消耗品費	200
租税公課	0
雑役務費	1,300
事業費 計	8,500
経常費用計	8,500
当期経常増減額	-8,500

2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
繰入金収入	8,500
経常外収益計	8,500
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	8,500
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期末残高	0

※本予算案は、全日本ろうあ連盟評議員会において
令和6年度（2024年度）予算案が可決した場合に確定する。
※2023年度予算作成時に運営委員会会計としていた一部の項目について見直しを実施し、全日本ろうあ連盟が負担している項目については、運営委員会会計から除外

- ICSD等の連絡調整、気運醸成イベントの推進を、全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会が担当
- 令和6年度の経費として、以下の経費を計上
 - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
 - ・ 全国の気運醸成イベントの検討、推進
 - ・ 大会情報の発信
- 連盟の他会計からの繰入金により運営委員会の経常費用を充当

3. 報告（１）利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について

- デフリンピック運営委員会の役職員に対し、利益相反管理研修及びコンプライアンス研修を書面で実施した。各役職員からの実施完了報告（Googleフォームまたは書面様式による）の提出を受け、実施確認を行った。
- 今後も定期的に両研修を実施し、デフリンピック運営業務に係る役職員の規範意識醸成を図るとともに、役職員がコンプライアンスに反することなく業務を遂行できているか随時確認する。

研修名	実施時期	目的	研修内容
利益相反管理研修	1月	利益相反管理体制と役職員が遵守すべきルールを理解を図る。	・利益相反とは ・利益相反となる事例 ・「利益相反に関する自己申告書」及び「利益相反管理チェックシート」提出の必要性
コンプライアンス研修Ⅰ	2月	コンプライアンス（法令遵守）を推進し、役職員の規範意識の向上を図る。	・コンプライアンスとは ・内部通報制度について ・デフリンピック運営委員会における内部通報制度の設置状況

今後予定している研修内容…

- ・汚職防止（利害関係者との接触等）
- ・組織管理の視点からのサービス事故防止（情報漏洩、会計処理等）
- ・役職員自らの取組としての非行防止（飲酒事故、不正受給等）

3. 報告（2）デフリンピック・フェスティバルについて

- 2023年度に実施するデフリンピックの気運醸成に資する取組みに対し、10万円を限度として助成
- 対象とする経費
 - 諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料
- 全国 8 ブロックで、各1か所実施
- 助成要件、対象経費等については、第3回運営委員会で報告済み
- 2023年度に実施した取組に対する決算状況は、次回運営委員会にて報告予定

	前回報告（2023.11）	現在状況（詳細は次頁）	事業実施・予定日
北海道	開催内容承認済	事業実施済	2023年 1 1 月 3 日（祝）
東北	開催内容承認済	事業実施済	2023年11月12日（日）
関東	候補地：神奈川県 申請準備中	開催地：神奈川県 開催承認済	2024年3月20日（祝）
東海	開催内容承認済	事業実施済	2023年10月22日（日）
北信越	候補地：石川県 申請準備中	開催地：石川県 申請準備中	調整中
近畿	開催地：大阪 申請準備中	開催内容承認済	2024年3月20日（祝）
中国・四国	候補地：鳥取県 申請準備中	開催地：鳥取県 開催承認済	2024年3月23日（土）
九州	開催内容承認済	事業実施済	2023年11月5日（日）

申請状況等一覧

ブロック	開催地	状況	開催規模、内容	主催者・連携先
①北海道ブロック 札幌市（北海道） デフリンピック・フェスティバル inほっかいどう		開催済	○11月3日（祝） ○会場：東区民センター ○参加者：市民101名 ○内容：啓発映画上映、講演、パネルディスカッション（パラリンピアン、デフリンピアン）	公益社団法人北海道ろうあ連盟 ○後援・協力：北海道、北海道教委 育委員会、北海道障がい者スポーツ協会、デフ競技団体等
②東北ブロック いわき市（福島県） デフリンピック・フェスティバル		開催済	○11月12日（日） ○会場：いわきFCパーク ○参加者：小学生32名 ○内容：手話講座	一般社団法人福島県聴覚障害者協会 ○共催：福島県 ○協力：いわきFC、日本ろう者サッカー協会、日本ブラインドサッカー協会
③関東ブロック 横浜市（神奈川県） デフリンピック・フェスティバル		承認済	○3月20日（祝） ○会場：新都市プラザ ○対象：市民 ○予算：10万円 ○内容：アスリートトークショー、手話講座、UDダンス、PRブース	神奈川県聴覚障害者連盟 ○共催：神奈川県
④東海ブロック 伊豆市（静岡県） デフリンピック・フェスティバル in東海		開催済	○10月22日（日） ○会場：サイクルスポーツセンター ○対象：ジャパンマウンテンバイクカップ2023観客（想定数2500名） ○内容：デフリンピック啓発ブース、自転車競技写真展、PRグッズ配布	東海聴覚障害者連盟 ○主管：静岡県聴覚障害者協会 ○連携：ジャパンマウンテンバイクカップ実行委員会（共催：静岡県、協力静岡県聴覚障害者協会等）

申請状況等一覧

ブロック	開催地	状況	開催規模、内容	主催者・連携先
⑤北信越ブロック 石川県（予定）		開催の方向で県と調整中		
⑥近畿ブロック 大阪市（大阪府） デフリンピック・フェスティバル inおおさか		承認済	○3月20日（祝） ○会場：大阪市立鶴見区民センター ○対象：近畿6府県の市民500名 ○予算：100万円 ○内容：デフアスリート紹介、デフリンピッククイズ、記念講演	近畿ろうあ連盟 ○主管：大阪聴力障害者協会
⑦中・四国ブロック 境港市（鳥取県） デフリンピック・フェスティバル in鳥取		承認済	○3月23日（土） ○会場：境港市民交流センター ○対象：市民 ○予算：11万円 ○内容：啓発映画上映、パネルディスカッション、ミニ手話講座、2025デフリンピック大会PR及び決意表明	鳥取県聴覚障害者協会 ○共催：鳥取県、境港市 ○後援・協力：鳥取県議会、境港市議会、鳥取県教育委員会、境港市教育委員会、鳥取県社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会、中国地区ろうあ連盟、四国ろうあ連盟、等
⑧九州ブロック 春日市（福岡県） デフリンピック・フェスティバル in九州		開催済	○11月5日（日） ○会場：クローバープラザ ○参加者：市民160名 ○内容：啓発映画上映、講演（デフアスリート）、デフアスリート交流・体験会	社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会 ○主管：福岡県ろうあ者スポーツ委員会 ○後援・協力：福岡県、九州聴覚障害者団体連合会

3. 報告（3）令和5年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について

- 東京2025デフリンピックに向けて、大会を知ってもらうとともに、その魅力を伝えていくため様々な機会を捉えて、大会に向けた気運を高める取組を実施
- 大会を契機に、障害のあるなしに関わらず、互いの違いを認め、誰もが尊重し合う共生社会づくりに貢献

大会特設Webサイト「TOKYO FORWARD 2025」



大会概要に加え、競技の特色や注目選手などをわかりやすく伝えるための特設Webサイトを

エンブレム



筑波技術大学の学生がエンブレムのデザイン案を制作し、都内中高生の投票により決定（全日本ろうあ連盟と協働）

応援アンバサダー



デフリンピック応援アンバサダーとして、長濱ねるさん、川俣郁美さん、KIKI、朝原宣治さんが就任
大会2年前イベントや子供たちとの交流会等に出演し、大会の魅力を発信

大会2年前「みるカフェ」



11月15日から26日まで期間限定でオープン
音声を文字化するディスプレイや音を振動に変換する機器など、多彩なデジタル技術を多くの方々が体験

「しゅわしゅわデフリンピック」 「デフリンピックハンドブック」



子供たちが手話に触れるきっかけとなる楽曲を制作し、お披露目会を開催。また、デフリンピックや手話を学ぶことができるハンドブックを制作し、公開

アスリート交流イベント for KIDS



きこえる・きこえないに関わらず、子供たちとアスリートと一緒にスポーツを楽しむ交流会を開催